

「バリア」の逆は「ありば」。  
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。  
 みんなに住みよいまちを、みんなで作るために。  
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

# ありば

VOL. 43  
2022



表紙／KAKERU 上山 滉平 (うえやま こうへい) さんの作品

令和3年度県特別支援学校美術展で優秀賞を受賞した鹿児島大学附属特別支援学校に通う上山滉平さん(18歳)。美術教室に5歳から通う上山さんは、「自分の作品を見て喜んでくれる人」を見たことをきっかけに表現することの楽しさを知ったとのこと。絵画や切り絵を得意とし、これまでに多くの賞を受賞しています。作品の表現方法は変わるものの、共通点は大好きな動物を描いていること。本作品は特に好きな「馬」をテーマに、水彩絵の具でレインボーカラーの躍動感のある心温まる作品を描き上げました。4月から社会人になる上山さんは「これからも絵を通して多くの人とつながっていききたい。将来は大好きな馬に関わる仕事をしたい。」と今後の展望についても話してくれました。



## CONTENTS

**[特集]**  
**障害のある方のスポーツ・文化活動や社会参加等をサポート!**

～障害者自立交流センター、視聴覚障害者情報センターをご活用ください～

PAGE 1

**ありばヒューマンドキュメント**

山口 義明さん

PAGE 3

**ありば通信**

県手話サークル連絡協議会

PAGE 4

**ハードルを越えて**

新地 亮平さん

PAGE 5

**バリアフリー最前線**

SS プラザ せんだい

心の輪を広げる

障害者理解促進事業

PAGE 6

**鹿児島県からのお知らせ**

- ・世界自閉症啓発デー
- ・「手話」を体験してみませんか  
 ～手話講座・手話出前講座の御案内～
- ・ヘルプマーク・ヘルプカードをご存知ですか
- ・鹿児島県身障者用駐車場利用証制度  
 (パーキングパーミット制度)  
 について

PAGE 7

